

「バリア」の逆は「ありば」。
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

ありば

VOL. 35
2018



表紙／「ハートフルアートプロジェクト」のワークショップに参加した
鹿児島盲学校のみなさんの作品

鹿児島県美術協会の会員有志による「ハートフルアートプロジェクト」のワークショップが鹿児島盲学校で開催され、視覚障害のある児童生徒が油絵などの制作に挑戦した。児童生徒は、モチーフの手触りやにおいを感じながら、美術協会の作家たちの助言をもとに静物画や自画像を完成させた。作家らのアドバイスを受けて作品づくりに挑むという貴重な経験を通して生まれた作品は、ダイナミックな作風や繊細な筆致などそれぞれの個性に彩られつつ、いずれも生き生きとした色彩感覚にあふれ、「表現する喜び」を感じさせてくれる。

CONTENTS

【特集】
発達障害って何だろう？
～正しい理解と支援のために～ **PAGE 1**

ありばヒューマンドキュメント
前野 明子さん **PAGE 3**

ありば通心
一般社団法人 南さつま市観光協会 **PAGE 4**

ハードルを越えて
満川 敦也さん **PAGE 5**

バリアフリー最前線
桜島港フェリーターミナル
心の輪を広げる障害者理解促進事業 **PAGE 6**

鹿児島県からのお知らせ
・全国障害者スポーツ大会団体競技の選手を募集
しています
・一人で悩んでいませんか？

